(ｴ)　［略］
(ｵ)　［略］
(ｶ)　［略］
(ｷ)　［略］
(ｸ)　［略］
(ｹ)　［略］
ウ.　［略］
エ. 換気設備を新設する場合には、次に掲げる事項等の措置を講じることにより、エネルギーの効率的利用を実施すること。

(ｱ)　負荷変動に対して適した制御方式を採用すること。
(ｲ)　風道等の経路の短縮や断熱等に配慮したエネルギーの損失の少ない設備とすること。

(2)　ボイラー設備、給湯設備に関する事項
①～③　［略］
④　ボイラー設備、給湯設備の新設に当たっての措置
ア. ボイラー設備、給湯設備を新設する場合には、必要な負荷に応じた設備を選定すること。
イ.　［略］
ウ. ボイラー設備を新設する場合は、次に掲げる事項等の措置を講じることにより、エネルギーの効率的利用のための措置を実施すること。

(ｱ)　エコノマイザー等を搭載した高効率なボイラー設備を採用すること。
(ｲ)　配管経路の短縮、配管の断熱等に配慮したエネルギーの損失の少ない設備とすること。
エ.　［略］
オ. 給湯設備を新設する場合には、次に掲げる事項等の措置を講じ

(ｳ)　［略］
(ｴ)　［略］
(ｵ)　［略］
(ｶ)　［略］
(ｷ)　［略］
(ｸ)　［略］
イ.　［略］
ウ. 換気設備を新設する場合には、負荷変動に対して稼働状態を調整しやすい設備構成とするなどの措置を講じることにより、建築物判断基準中、機械換気設備に関する事項を踏まえ、エネルギーの効率的利用を実施すること。
［新規］
［新規］

(2)　ボイラー設備、給湯設備に関する事項
①～③　［略］
④　ボイラー設備、給湯設備の新設に当たっての措置
［新規］

ア.　［略］
イ. ボイラー設備を新設する場合は、蒸気等の需要実績と将来の動向について十分な検討を行い、適正規模の設備容量のボイラー設備を選定するとともに、エコノマイザー等を搭載した高効率なボイラー設備を採用すること。
［新規］

［新規］

ウ.　［略］
エ. 給湯設備を新設する場合には、次に掲げる事項等の措置を講じ